

平成30年度個別保健事業実施計画（計画書兼評価シート）

整理番号 30-01

個別保健事業名	後期高齢者健康診査事業	事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 年度
---------	-------------	------	------------------

第2期保健事業実施計画における位置付け	有	該当する基本目標名	01 生活習慣病の重症化予防
---------------------	---	-----------	----------------

計 画 の 概 要  ( P l a n )	現状と背景、趣旨・・・上位目標（基本目標）との関係性、どうして	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道の後期高齢者（医療）の状況を見ると、生活習慣病が重篤化した疾患の受診率や医療費が高く、加齢に伴う疾患の1件当たりレセプト点数も全国より高くなっています。</li> <li>被保険者が健康診査を受けることにより生活習慣病等の発見の遅れや重症化を防ぐとともに、自らの健康状態を確認することによって、適切な療養の維持、生活の質の確保や介護予防に繋げることが必要です。</li> </ul>			
	事業の対象・・・誰（何）のために、働きかける相手は誰（何）	<ul style="list-style-type: none"> <li>後期高齢者医療の被保険者</li> <li>事業を受託した市町村</li> </ul>			
	仕組・体制、手段・手順 [ストラクチャー、プロセス]・・・どうやって、どのような手段を使って	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域連合から道内全179市町村への全部委託により実施します。</li> <li>広域連合では市町村における事務が、円滑に進むように、必要な支援を行います。</li> <li>市町村では、広報誌やホームページ、被保険者への個別通知等により受診案内・勧奨を行い、市町村が定める期間や方法により健康診査を実施します。</li> <li>広域連合では、市町村に対し、後期高齢者健康診査の手引き等資料の活用促進を行い、事業を推進していきます。</li> </ul>			
	意図・・・対象をどうしたいか、どんな状態にしたいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>被保険者の生活の質（QOL）の確保のため、より効果的な健診を受診可能とする。</li> </ul>			
	実施してつくり出すもの（内容）は何 [アウトプット]	指標名称	単位	指標の算出方法、考え方等	目標値
活動指標	健診データ入力市町村の増加	データ入力を行っている市町村数	市町村	平成28年度の数（141）以上	—
成果指標	成果・効果は何 [アウトカム]	指標名称	単位	指標の算出方法、考え方等	目標値
成果指標	健康診査受診率	健康診査受診率	%	第2期保健事業実施計画目標値	15.00

実 施 状 況  ( D o c u m e n t )	予算事業名	後期高齢者健康診査事業		会計	02	款	01	項	02	目	06	事業	73	
	項 目	単位	H29予	H29決 (又は決見)	H30予	H30決 (又は決見)								
	被 保 険 者 数	人	予算編成時推計値 795,326	平成30年3月末現在 803,930	予算編成時推計値 815,001	平成31年3月末現在								
	事 業 の 利 用 者 数	人	予算編成時推計値 108,958	平成29年度	予算編成時推計値 113,200	平成30年度								
	事 業 費	節・ 細 節	委託料	832,901,000		874,208,000								
			合 計	832,901,000		874,208,000								
			被 保 険 者 1 人 当 たり 事 業 費	1,047.24		1,072.65								
			事 業 の 利 用 者 1 人 当 たり 事 業 費	7,644.24		7,722.69								
	財 源 内 訳		国庫補助金	209,379,000		217,864,000								
			一般財源（市町村事務費負担金）	101,325,000		104,141,000								
			その他（保険料）	522,197,000		552,203,000								
			合 計	832,901,000		874,208,000								
	項 目	単位	平成29年度			平成30年度								
	活 動 指 標	データ入力を行っている市町村数	目 標	市町村	前年度 指標とせず									
			実 績											
達 成 率			%											
成 果 指 標	健康診査受診率	目 標	%	15.00			15.00							
		実 績												
		達 成 率	%											
		達 成 率	%											

個別保健事業名	後期高齢者健康診査事業	事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 年度
---------	-------------	------	------------------

期	目 標	実 績	課 題
半年ごとの進行管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度委託料の支払</li> <li>道内全179市町村との委託契約締結</li> <li>市町村から広域連合へ実施計画提出</li> <li>受診対象外者数調査</li> <li>後期高齢者健康診査の手引き等資料の活用促進の依頼</li> <li>市町村への健診データ入力協力の依頼</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村連絡調整会議において市町村事務担当者への事業説明</li> <li>市町村から広域連合へ実施報告提出</li> <li>新年度委託契約の準備</li> </ul>		【評価（Check）欄にまとめて記載】

翌年度予算編成に当たっての事中評価（年度途中の仮評価）					
翌年度予算編成時までに新たに生じた問題点や環境の変化		今後の方向性		コスト投入の方向性	
				皆 減	縮 小
		成果の方向性		現状維持	拡 大
翌年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		拡 充		②	⑤
		現状維持		③	⑥
		縮 小		④	⑧
		休 廃 止		①	⑩

評 価 課 題 (Check)	視 点				妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価	
	評価の観点	1	2	3	4	評価	1	2	3	4	評価	1	2	3	4	評価		
	チェック																	
総合評価																記号の定義	A	計画どおり事業を進めることが適当
																	B	事業の進め方に改善が必要
																	C	事業規模・内容・実施者等の見直しが必要
																	D	事業の統合、休・廃止の検討が必要
															前年度総合評価		-	
															前年度整理番号		29-01	

改革・改善の方向性 (Act)	今後の方向性		コスト投入の方向性			
			皆 減	縮 小	現状維持	拡 大
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	⑦
		現状維持		③	⑥	⑨
		縮 小		④	⑧	⑩
休 廃 止		①				

「北海道後期高齢者医療広域連合保健事業実施に関する協議会」における意見等

個別保健事業名	糖尿病性腎症重症化予防事業	事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 年度
---------	---------------	------	------------------

第2期保健事業実施計画における位置付け	有	該当する基本目標名	01 生活習慣病の重症化予防
---------------------	---	-----------	----------------

計 画 概 要	現状と背景、趣旨・・・上位目標（基本目標）との関係性、どうして	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北海道の後期高齢者（医療）の状況を見ると、生活習慣病が重篤化した疾患の受診率や医療費が高く、人工透析患者数・患者率は年々増加し、レセプト数・1件当たり点数ともに全国より高くなっています。</li> <li>・ 糖尿病性腎症患者の腎機能低下を遅延させ、人工透析導入を予防又は導入時期を遅らせることにより、生活の質の維持・向上を図るため、医療機関と連携した保健指導を行うなど、対策の必要性が高くなっています。</li> </ul>			
	事業の対象・・・誰（何）のために、働きかける相手は誰（何）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被保険者のうち、生活習慣の改善による重症化の予防・現状維持が期待される者</li> <li>・ 北海道内の市町村</li> </ul>			
	仕組・体制、手段・手順 [ストラクチャー、プロセス]・・・どうやって、どのような手段を使って	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域連合から市町村に受託の意向確認を行い、可能と回答した市町村へ全部委託により実施します。</li> <li>・ 広域連合では、市町村における事務が円滑に進むように、必要な支援を行います。</li> <li>・ 広域連合では、過去に事業を行った市町村に対する、実態調査を行います。</li> <li>・ 市町村では、市町村の設定した抽出基準に基づき対象者を抽出・選定し、かかりつけ医等と連携し、専門職による訪問指導等を行います。</li> </ul>			
	意図・・・対象をどうしたいか、どんな状態にしたいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 腎機能の低下防止、治療中断を防止する。</li> <li>・ 事業実施市町村の増加</li> </ul>			
評 価 指 標 （ P l a n ）	実施してつくり出すもの（内容）は何 [アウトプット]	指標名称	単位	指標の算出方法、考え方等	目標値
	活動指標	事業受託市町村の増加	事業受託市町村数	市町村	平成29年度の数（5）以上
成 果 指 標 （ D o ）	成果・効果は何 [アウトカム]	指標名称	単位	指標の算出方法、考え方等	目標値
	成果指標				

実 施 状 況 （ D o ）	予算事業名	重症化予防等推進事業		会計	02	款	01	項	01	目	01	事業	81	
	項 目	単位	H29予	H29決（又は決見）	H30予		H30決（又は決見）							
	被 保 険 者 数	人	予算編成時推計値 795,326	平成30年3月末現在 803,930	予算編成時推計値 815,001	平成31年3月末現在								
	事 業 の 利 用 者 数	人	予算編成時推計値 —	平成29年度 —	予算編成時推計値 —	平成30年度 —								
	事 業 費	節・ 細 節	円	委託料	240,000		217,000							
		合 計		240,000		217,000								
		被 保 険 者 1 人 当 たり 事 業 費		0.30		0.27								
		事 業 の 利 用 者 1 人 当 たり 事 業 費												
	財 源 内 訳	国庫補助金	円	240,000		217,000								
		合 計		240,000		217,000								
活 動 指 標 （ D o ）	項 目	単位	平成29年度		平成30年度									
	事業受託市町村数	目 標	1		—									
		実 績	市町村											
	達成率	%												
		目 標												
	達成率	%												
		目 標												
	達成率	%												
目 標														
達成率	%													
	目 標													
達成率	%													
	目 標													
達成率	%													
	目 標													

個別保健事業名	糖尿病性腎症重症化予防事業	事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 年度
---------	---------------	------	------------------

期	目 標	実 績	課 題
半 期 ご と の 進 行 管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度委託料の支払</li> <li>受託可能市町村との委託契約締結</li> <li>市町村から広域連合へ実施計画提出</li> <li>実態調査の実施</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村から広域連合へ実施報告提出</li> <li>新年度委託契約の準備</li> <li>新年度事業実施市町村の抽出・支援方法の検討</li> </ul>		【評価（Check）欄にまとめて記載】

翌年度予算編成に当たっての事中評価（年度途中の仮評価）					
翌年度予算編成時までに新たに生じた問題点や環境の変化		今後の方向性		コスト投入の方向性	
				皆 減	縮 小
		成果の方向性		現状維持	拡 大
翌年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		拡 充		②	⑤
		現状維持		③	⑥
		縮 小		④	⑧
		休 廃 止		①	⑩

評 価 課 題 (Check)	視 点				妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価		
	評価の観点	1	2	3	4	評価	1	2	3	4	評価	1	2	3	4	評価			
チェック																			
総合評価																記号の定義	A	計画どおり事業を進めることが適当	
																	B	事業の進め方に改善が必要	
																	C	事業規模・内容・実施者等の見直しが必要	
																	D	事業の統合、休・廃止の検討が必要	
															前年度総合評価		-		
															前年度整理番号		29-06		

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (Act)	今後の方向性		コスト投入の方向性			
			皆 減	縮 小	現状維持	拡 大
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	⑦
		現状維持		③	⑥	⑨
		縮 小		④	⑧	⑩
休 廃 止		①				

「北海道後期高齢者医療広域連合保健事業実施に関する協議会」における意見等

平成30年度個別保健事業実施計画（計画書兼評価シート）

整理番号 30-03

個別保健事業名	歯科健康診査事業・訪問歯科健康診査事業	事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 年度
---------	---------------------	------	------------------

第2期保健事業実施計画における位置付け	有	該当する基本目標名	02 口腔機能の低下防止
---------------------	---	-----------	--------------

計 画 要 求	現状と背景、趣旨・・・上位目標（基本目標）との関係性、どうして																		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北海道の後期高齢者（医療）の状況を見ると、歯科の受診率が低く、レセプト1件当たり受診日数、1日当たり診療費は全国より高くなっています。</li> <li>・ 被保険者の口腔機能の低下や肺炎等の疾病の予防、歯周疾患の早期発見により適切な医療へとつなげ、生活の質の低下を防ぐことが必要です。</li> </ul>																		
	事業の対象・・・誰（何）のために、働きかける相手は誰（何）																		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後期高齢者医療の被保険者（歯科健診）</li> <li>・ 被保険者のうち、通常の歯科健康診査を自ら受診できない在宅の要介護状態にある者等。（訪問歯科健診）</li> <li>・ 北海道内の市町村</li> </ul>																		
	仕組・体制、手段・手順〔ストラクチャー、プロセス〕・・・どうやって、どのような手段を使って																		
P r i a n （ 評 価 指 標 ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域連合から市町村に受託の意向確認を行い、可能と回答した市町村へ全部委託により実施します。</li> <li>・ 市町村では、広報誌やホームページ、被保険者への個別通知等により受診案内・勧奨を行い、市町村が定める期間や方法により歯科健康診査を実施します。</li> <li>・ 市町村では、市町村の設定した抽出基準に基づき対象者を抽出・選定し、歯科医師・歯科衛生士の訪問による歯科健診及び口腔衛生指導等を実施します。</li> <li>・ 広域連合では、市町村における事務が円滑に進むように、必要な支援を行います。</li> </ul>																		
	意図・・・対象をどうしたいか、どんな状態にしたいか																		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健診等の機会の確保により、歯科への早期受診につなげる。</li> <li>・ 被保険者が口腔の健康について関心を高める。</li> </ul>																		
	実施してつくり出すもの（内容）は何〔アウトプット〕																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動指標</th> <th>指標名称</th> <th>単位</th> <th>指標の算出方法、考え方等</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健診等の機会の確保（歯科健診）</td> <td>事業実施市町村数</td> <td>市町村</td> <td>平成29年度の数（31）以上</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>健診等の機会の確保（訪問歯科健診）</td> <td>事業実施市町村数</td> <td>市町村</td> <td>平成29年度の数（1）以上</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>					活動指標	指標名称	単位	指標の算出方法、考え方等	目標値	健診等の機会の確保（歯科健診）	事業実施市町村数	市町村	平成29年度の数（31）以上	34	健診等の機会の確保（訪問歯科健診）	事業実施市町村数	市町村	平成29年度の数（1）以上
活動指標	指標名称	単位	指標の算出方法、考え方等	目標値															
健診等の機会の確保（歯科健診）	事業実施市町村数	市町村	平成29年度の数（31）以上	34															
健診等の機会の確保（訪問歯科健診）	事業実施市町村数	市町村	平成29年度の数（1）以上	—															
成果・効果は何〔アウトカム〕																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>指標名称</th> <th>単位</th> <th>指標の算出方法、考え方等</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標	指標名称	単位	指標の算出方法、考え方等	目標値										
成果指標	指標名称	単位	指標の算出方法、考え方等	目標値															

実 施 状 況 （ D o ）	予算事業名		歯科健康診査事業		会計	02	款	01	項	02	目	06	事業	74		
	項 目		単位	H29予	H29決（又は決見）	H30予		H30決（又は決見）								
	被 保 険 者 数		人	予算編成時推計値 795,326	平成30年3月末現在 803,930	予算編成時推計値 815,001		平成31年3月末現在								
	事 業 の 利 用 者 数		人	予算編成時推計値 8,318	平成29年度	予算編成時推計値 24,949		平成30年度								
	事 業 費	節・ 細 節	委託料（歯科健診）	35,644,000		104,611,000										
			委託料（訪問歯科健診）	1,193,000		478,000										
		合 計		円	36,837,000		105,089,000									
		被 保 険 者 1 人 当 た り 事 業 費			46.32		128.94									
	事 業 の 利 用 者 1 人 当 た り 事 業 費			4,428.59		4,212.15										
	財 源 内 訳	国庫補助金		円	10,559,000		29,150,000									
		一般財源（市町村事務費負担金）			3,203,000		7,309,000									
		その他（保険料）			23,075,000		68,630,000									
		合 計			36,837,000		105,089,000									
	項 目		単位	平成29年度		平成30年度										
	活 動 指 標	事業実施市町村数（歯科健診）		市町村	19		34									
事業実施市町村数（訪問歯科健診）		市町村	前年度個別 計画なし		—											
達成率		%														
成 果 指 標	目 標															
	実 績															
	達成率		%													

個別保健事業名	歯科健康診査事業・訪問歯科健康診査事業	事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 年度
---------	---------------------	------	------------------

期	目 標	実 績	課 題
半 期 ご と の 進 行 管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>受託可能市町村との委託契約締結</li> <li>市町村から広域連合へ実施計画提出</li> <li>前年度委託料支払</li> <li>歯科健診様式の検討、歯科医師会と協議</li> <li>北海道（総合）振興局への事業の情報提供</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村連絡調整会議において市町村事務担当者への事業説明</li> <li>市町村から広域連合へ実施報告提出</li> <li>新年度委託契約の準備</li> </ul>		【評価（Check）欄にまとめて記載】

翌年度予算編成に当たっての事中評価（年度途中の仮評価）					
翌年度予算編成時までに新たに生じた問題点や環境の変化		今後の方向性		コスト投入の方向性	
				皆 減	縮 小
		成 果 の 方 向 性		現 状 維 持	拡 大
翌年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		拡 充		②	⑤
		現 状 維 持		③	⑥
		縮 小		④	⑧
		休 廃 止		①	

評 価 課 題 (Check)	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価		
	評価の観点	1	2	3	4	評価	1	2	3	4	評価	1	2	3	4	評価	1	2	3	4	評価		
	チェック																						
課 題																					記 号 の 定 義	A	計画どおり事業を進めることが適当
																						B	事業の進め方に改善が必要
																						C	事業規模・内容・実施者等の見直しが必要
																						D	事業の統合、休・廃止の検討が必要
																				前年度総合評価		-	
																				前年度整理番号		29-02	

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (Act)	今後の方向性		コスト投入の方向性			
			皆 減	縮 小	現 状 維 持	拡 大
	成 果 の 方 向 性	拡 充		②	⑤	⑦
		現 状 維 持		③	⑥	⑨
		縮 小		④	⑧	⑩
休 廃 止		①				

「北海道後期高齢者医療広域連合保健事業実施に関する協議会」における意見等

個別保健事業名	重複・頻回受診者訪問指導事業	事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 年度
---------	----------------	------	------------------

第2期保健事業実施計画における位置付け	有	該当する基本目標名	03 心身機能の低下防止
---------------------	---	-----------	--------------

計 画 の 概 要	現状と背景、趣旨・・・上位目標（基本目標）との関係性、どうして									
	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道は全国平均より高齢化率が高く、医療・介護を必要とする高齢者が増えるとともに、被保険者1人当たりの医療費も年々伸び、全国順位で3位となっています。</li> <li>同一疾病で医療機関に重複受診や頻回受診をしている被保険者に対し、保健師等が自宅を訪問し必要な保健指導を行うことにより、被保険者やその家族が適正医療の重要性について知り、健康管理の実践につなげていくことが必要です。</li> </ul>									
	事業の対象・・・誰（何）のために、働きかける相手は誰（何）									
	<ul style="list-style-type: none"> <li>同一傷病について、同一診療科目の複数の医療機関に受診し、1か月当たりのレセプト枚数が4枚以上で、3か月継続している者。</li> <li>同一傷病について、1か月当たりの1レセプトにおける受診日数が15日以上で、3か月継続している者。</li> </ul>									
	仕組・体制、手段・手順〔ストラクチャー、プロセス〕・・・どうやって、どのような手段を使って <ul style="list-style-type: none"> <li>広域連合から市町村に受託の意向確認を行い、可能と回答した市町村へ全部委託により実施します。</li> <li>市町村では、広域連合で抽出したデータから対象者を選定し、保健師等の訪問による保健指導を実施します。</li> <li>広域連合では、市町村における事務が円滑に進むように、必要な支援を行います。</li> </ul>									
評 価 指 標	意図・・・対象をどうしたいか、どんな状態にしたいか									
	<ul style="list-style-type: none"> <li>病状や生活状況が好転する。</li> <li>被保険者やその家族が適正医療の重要性について理解し、健康管理の実践につなげていく。</li> </ul>									
	実施してつくり出すもの（内容）は何〔アウトプット〕									
	活動指標	保健師等による訪問保健指導の実施	指標名称	事業を受託可能と回答した市町村数	単位	市町村	指標の算出方法、考え方等	平成29年度の数（48）以上	目標値	56
	成果指標	成果・効果は何〔アウトカム〕								
成果指標	対象者の病状、生活状況の変化	指標名称	病状、生活状況が悪化しなかった者の割合	単位	%	指標の算出方法、考え方等	平成28年度の率 該当人数÷対象者数	目標値	59.60	
成果指標	対象者の受診状況の変化	指標名称	医療費が減った者の割合	単位	%	指標の算出方法、考え方等	平成28年度の率 該当人数÷対象者数	目標値	39.20	

実 施 状 況	予算事業名	重複・頻回受診者等訪問指導事業				会計	02	款	01	項	01	目	01	事業	80															
	項	目	単位	H29予	H29決（又は決見）	H30予	H30決（又は決見）																							
	被	保	險	者	数	人	予算編成時推計値 795,326	平成30年3月末現在 803,930	予算編成時推計値 815,001	平成31年3月末現在																				
	事	業	の	利	用	者	数	人	予算編成時推計値 260	平成29年度	予算編成時推計値 378	平成30年度																		
	事	業	費	節・	委	円	3,361,000		5,096,000																					
				細	託																									
				節	料																									
				計																										
				被	保	險	者	1	人	当	た	り	事	業	費	4.23	6.25													
				事	業	の	利	用	者	1	人	当	た	り	事	業	費	12,926.92	13,481.48											
	財	源	内	訳	国	庫	補	助	金	円	1,680,000	2,548,000																		
					一	般	財	源	（	市	町	村	事	務	費	負	担	金	1,681,000	2,548,000										
					計																									
					合	計	3,361,000	5,096,000																						
	項	目	単位	平成29年度				平成30年度																						
活	動	指	標	事	業	を	受	託	可	能	と	回	答	し	た	市	町	村	数	目	標	27	56							
				実	績	市	町	村	数	市	町	村																		
				達	成	率	%																							
				目	標	実	績	達	成	率	%																			
成	果	指	標	病	状	、	生	活	状	況	が	悪	化	し	な	か	っ	た	者	の	割	合	目	標	80.00	59.60				
				実	績	%																								
				達	成	率	%																							
				目	標	実	績	達	成	率	%																			
医	療	費	が	減	っ	た	者	の	割	合	目	標	50.00	39.20																
											実	績	%																	
											達	成	率	%																
											目	標	実	績	達	成	率	%												

個別保健事業名	重複・頻回受診者訪問指導事業	事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 年度
---------	----------------	------	------------------

期	目 標	実 績	課 題
半 期 ご と の 進 行 管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度の結果分析・効果測定</li> <li>受託可能市町村との委託契約締結</li> <li>市町村から広域連合へ実施計画提出</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村連絡調整会議において市町村事務担当者への事業説明</li> <li>新年度受託希望調査</li> <li>市町村から広域連合へ実施報告提出</li> <li>委託料の支払</li> <li>新年度委託契約の準備</li> </ul>	【評価（Check）欄にまとめて記載】	

翌年度予算編成に当たっての事中評価（年度途中の仮評価）				
翌年度予算編成時までに新たに生じた問題点や環境の変化		今後の方向性		
		コスト投入の方向性		
		皆 減	縮 小	現 状 維 持
翌年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		②	⑤	⑦
		③	⑥	⑨
		④	⑧	⑩
		①		

評 価 課 題 ( C h e c k )	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価		
	評価の観点	1	2	3	4	評価	1	2	3	4	評価	1	2	3	4	評価	1	2	3	4	評価		
	チェック																						
課 題																					記 号 の 定 義	A	計画どおり事業を進めることが適当
																						B	事業の進め方に改善が必要
																						C	事業規模・内容・実施者等の見直しが必要
																						D	事業の統合、休・廃止の検討が必要
総合評価																					前年度総合評価	-	
																					前年度整理番号	29-05	

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 ( A c t )	今後の方向性		コスト投入の方向性			
			皆 減	縮 小	現 状 維 持	拡 大
	成 果 の 方 向 性	拡 充		②	⑤	⑦
		現 状 維 持		③	⑥	⑨
		縮 小		④	⑧	⑩
休 廃 止		①				
「北海道後期高齢者医療広域連合保健事業実施に関する協議会」における意見等						



個別保健事業名	重複・多剤投薬者訪問指導事業	事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 年度
---------	----------------	------	------------------

第2期保健事業実施計画における位置付け	有	該当する基本目標名	03 心身機能の低下防止
---------------------	---	-----------	--------------

計 画 の 概 要	現状と背景、趣旨・・・上位目標（基本目標）との関係性、どうして					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道は全国平均より高齢化率が高く、医療・介護を必要とする高齢者が増えるとともに、被保険者1人当たりの医療費も年々伸び、全国順位で3位となっています。</li> <li>重複・多剤投薬を受けている等の被保険者に対し、薬剤師・保健師が自宅を訪問し服薬等について必要な保健指導を行うことにより、被保険者やその家族が適正な服薬の重要性について知り、健康管理の実践につなげていくことが必要です。</li> </ul>					
	事業の対象・・・誰（何）のために、働きかける相手は誰（何）					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>重複・多剤投薬を受けている等の被保険者。</li> </ul>					
	仕組・体制、手段・手順〔ストラクチャー、プロセス〕・・・どうやって、どのような手段を使って <ul style="list-style-type: none"> <li>広域連合から市町村に受託の意向確認を行い、可能と回答した市町村へ全部委託により実施します。</li> <li>市町村では、広域連合で抽出したデータから対象者を選定し、薬剤師・保健師の訪問による保健指導を実施します。</li> <li>広域連合では、市町村における事務が円滑に進むように、必要な支援を行います。</li> </ul>					
評 価 指 標 （ P i a n ）	意図・・・対象をどうしたいか、どんな状態にしたいか					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>病状や生活状況が好転する。</li> <li>被保険者やその家族が適正な服薬の重要性について理解し、健康管理の実践につなげていく。</li> </ul>					
	活動指標	実施してつくり出すもの（内容）は何〔アウトプット〕	指標名称	単位	指標の算出方法、考え方等	目標値
		事業実施市町村数	事業実施市町村数	市町村	平成29年度の数の(1)以上	—
	成果指標	成果・効果は何〔アウトカム〕	指標名称	単位	指標の算出方法、考え方等	目標値

実 施 状 況 （ D o o ）	予算事業名	重複・頻回受診者等訪問指導事業		会計	02	款	01	項	01	目	01	事業	80										
	項	目	単位	H29予	H29決(又は決見)	H30予	H30決(又は決見)																
	被	保	険	者	数	人	予算編成時推計値 795,326	平成30年3月末現在 803,930	予算編成時推計値 815,001	平成31年3月末現在													
	事	業	の	利	用	者	数	人	予算編成時推計値 —	平成29年度 —	予算編成時推計値 —	平成30年度 —											
	事	業	費	節・	委	円	393,000			188,000													
				細	託																		
				節	料																		
				計																			
				被	保	険	者	1	人	当	た	り	事	業	費	0.49		0.23					
				事	業	の	利	用	者	1	人	当	た	り	事	業	費						
	財	源	内	記	国	円	393,000			188,000													
					庫																		
					補																		
				助																			
				金																			
			計			393,000			188,000														
			合																				
			計																				
活	動	指	標	事	業	実	施	市	町	村	数	目	標	実	績	達	成	率	%	平成29年度	1	平成30年度	—
																			%				
																			%				
																			%				
																			%				
																			%				
																			%				

個別保健事業名	重複・多剤投薬者訪問指導事業	事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 年度
---------	----------------	------	------------------

期	目 標	実 績	課 題
半 期 ご と の 進 行 管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度の結果分析・効果測定</li> <li>受託可能市町村との委託契約締結</li> <li>市町村から広域連合へ実施計画提出</li> <li>対象抽出方法検討</li> <li>前年度委託料支払</li> <li>薬剤師会と情報交換</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村連絡調整会議において市町村事務担当者への事業説明</li> <li>市町村から広域連合へ実施報告提出</li> <li>新年度委託契約の準備</li> </ul>		【評価（Check）欄にまとめて記載】

翌年度予算編成に当たっての事中評価（年度途中の仮評価）					
翌年度予算編成時までに新たに生じた問題点や環境の変化		今後の方向性		コスト投入の方向性	
				皆 減	縮 小
		成 果 の 方 向 性		現 状 維 持	拡 大
翌年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		拡 充		②	⑤
		現 状 維 持		③	⑥
		縮 小		④	⑧
		休 廃 止		①	⑩

評 価 課 題 (Check)	視 点				妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価	
	評価の観点	1	2	3	4	評価	1	2	3	4	評価	1	2	3	4	評価		
	チェック																	
課 題																	A	計画どおり事業を進めることが適当
																	B	事業の進め方に改善が必要
																	C	事業規模・内容・実施者等の見直しが必要
																	D	事業の統合、休・廃止の検討が必要
総合評価																	前年度総合評価	-
																	前年度整理番号	29-07

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (Act)	今後の方向性		コスト投入の方向性			
			皆 減	縮 小	現 状 維 持	拡 大
	成 果 の 方 向 性	拡 充		②	⑤	⑦
		現 状 維 持		③	⑥	⑨
		縮 小		④	⑧	⑩
休 廃 止		①				

「北海道後期高齢者医療広域連合保健事業実施に関する協議会」における意見等

平成30年度個別保健事業実施計画（計画書兼評価シート）

整理番号 30-06

個別保健事業名	健康診査受診率向上対策（健康増進啓発支援）	事業期間	平成 30 年度 ~ 平成 年度
---------	-----------------------	------	------------------

第2期保健事業実施計画における位置付け	無	該当する基本目標名	04 被保険者の健康意識の向上
---------------------	---	-----------	-----------------

計 画 の 概 要	現状と背景、趣旨・・・上位目標（基本目標）との関係性、どうして	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道の後期高齢者健康診査受診率は、徐々に上昇しているが、未だ全国平均より低く、伸び悩んでいる。（平成28年受診率 全国平均28.8% 北海道平均13.74%）</li> </ul>			
	事業の対象・・・誰（何）のために、働きかける相手は誰（何）	<ul style="list-style-type: none"> <li>後期高齢者医療の被保険者</li> <li>広域連合より全部委託をしている市町村</li> </ul>			
	仕組・体制、手段・手順【ストラクチャー、プロセス】・・・どうやって、どのような手段を使って	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域連合においてモデル地域（市町村）を設定し、広域連合職員と市町村、関係団体等の職員との間で健診受診率向上対策推進のため協議を重ね、具体的な取組を検討・実行する。</li> <li>その他の市町村については、研修等の場を活用し、取組好事例等を紹介するとともに、取組の依頼を行う。</li> </ul>			
	意図・・・対象をどうしたいか、どんな状態にしたいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域連合が市町村を支援し、市町村が主体となり、健康診査受診率を増加させる。</li> </ul>			
	（P l a n）	実施してつくり出すもの（内容）は何【アウトプット】	指標名称	単位	指標の算出方法、考え方等
活動指標	モデル市町村への支援	事業実施市町村数	市町村		2
成果指標	成果・効果は何【アウトカム】	指標名称	単位	指標の算出方法、考え方等	目標値
	実施市町村の健康診査受診率の増加	健康診査受診率	%		-

実 施 の 状 況  （ D o c u m e n t ）	予算事業名	保健事業推進強化対策事業		会計	02	款	01	項	01	目	01	事業	78									
	項	目	単位	H29予	H29決（又は決見）	H30予	H30決（又は決見）															
	被	保	険	者	数	人	予算編成時推計値 795,326	平成30年3月末現在 803,930	予算編成時推計値 815,001	平成31年3月末現在												
	事	業	の	利	用	者	数	人	予算編成時推計値 -	平成29年度 -	予算編成時推計値 -	平成30年度 -										
	事	業	費	節・	旅費	円	H30年度 新規事業		1,044,000													
				細																		
				節																		
				合	計				1,044,000													
				被	保	険	者	1	人	当	た	り	事	業	費	1.28						
				事	業	の	利	用	者	1	人	当	た	り	事	業	費					
	財	源	内	訳	国	庫	交	付	金	円	H30年度 新規事業		1,044,000									
					合	目	計	1,044,000														
	項	目	単位	平成29年度				平成30年度														
	活	動	指	標	事	業	実	施	市	町	村	数	目	標	2							
成	果	指	標	健	康	診	査	受	診	率	%	目	標	-								

個別保健事業名	健康診査受診率向上対策（健康増進啓発支援）	事業期間	平成 30 年度 ~ 平成 年度
---------	-----------------------	------	------------------

期	目 標	実 績	課 題
半 期 ご と の 進 行 管 理	上半期 ・ モデル地域（市町村）の選定 ・ 効果的・効率的な受診率向上対策の検討		
	下半期 ・ 研修会での受診率向上対策事例の紹介、取組の依頼 ・ 受診率向上対策の実施		【評価（Check）欄にまとめて記載】

翌年度予算編成に当たっての事中評価（年度途中の仮評価）					
翌年度予算編成時までに新たに生じた問題点や環境の変化		今後の方向性		コスト投入の方向性	
				皆 減	縮 小
		成果の方向性		現状維持	拡 大
翌年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		拡 充		②	⑤
		現状維持		③	⑥
		縮 小		④	⑧
		休 廃 止		①	⑩

評 価 課 題  ( C h e c k )	視 点				妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価	
	評価の観点	1	2	3	4	評価	1	2	3	4	評価	1	2	3	4	評価		
	チェック																	
総合評価																記号の定義 A 計画どおり事業を進めることが適当 B 事業の進め方に改善が必要 C 事業規模・内容・実施者等の見直しが必要 D 事業の統合、休・廃止の検討が必要	前年度総合評価	—
																	前年度整理番号	—

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性  ( A c t )	今後の方向性		コスト投入の方向性			
			皆 減	縮 小	現状維持	拡 大
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	⑦
		現状維持		③	⑥	⑨
		縮 小		④	⑧	⑩
休 廃 止		①				

「北海道後期高齢者医療広域連合保健事業実施に関する協議会」における意見等					

個別保健事業名	長寿・健康増進事業補助金	事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 年度
---------	--------------	------	------------------

第2期保健事業実施計画における位置付け	有	該当する基本目標名	05 保健事業の実施体制整備
---------------------	---	-----------	----------------

計 画 （ P l a n ） の 概 要	補助金を支出する根拠、趣旨・・・どうして				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道後期高齢者医療広域連合長寿・健康増進事業特別対策補助金交付要綱に基づき、積極的に健康増進事業に取り組む構成市町村に対し補助金を交付。</li> <li>長年社会に貢献されてきた被保険者の健康づくりのために行われる、健康診査（追加項目）、保健指導等を対象とする。</li> </ul>				
	補助金の支出先				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金交付申請を行い、当広域連合から交付決定を受けた市町村。</li> </ul>				
評 価 指 標 （ D o o ）	意図・・・誰（何）のために（対象）、対象をどうしたいか、どんな状態にしたいか				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の課題や特性等を踏まえた、被保険者の心身の健康保持・増進につながる保健事業が実施される。</li> </ul>				
評 価 指 標 （ D o o ）	成果・効果は何 [アウトカム]	指標名称	単位	指標の算出方法、考え方等	目標値
	保健事業の取組の拡大	事業実施市町村数	市町村	平成29年度の数	125
	保健事業の取組の拡大	実施事業数	件	平成29年度の数	217

実 施 状 況 （ D o o ）	予算事業名	市町村長寿・健康増進事業等補助金		会計	02	款	03	項	01	目	01	事業	75	
	項 目	単位	H29予	H29決(又は決見)	H30予		H30決(又は決見)							
	被 保 険 者 数	人	予算編成時推計値 795,326	平成30年3月末現在 803,930	予算編成時推計値 815,001	平成31年3月末現在								
	事 業 の 利 用 者 数	人	予算編成時推計値 -	平成29年度 -	予算編成時推計値 -	平成30年度 -								
	事 業 費	節・ 細 節	負担金補助及び交付金	円	159,696,000		179,251,000							
			合 計	円	159,696,000		179,251,000							
		被 保 険 者 1 人 当 たり 事 業 費			200.79		219.94							
		事 業 の 利 用 者 1 人 当 たり 事 業 費												
	財 源 内 訳	国庫交付金		円	159,696,000		179,251,000							
		合 計		円	159,696,000		179,251,000							
項 目		単位	平成29年度		平成30年度									
成 果 指 標 （ D o o ）	事業実施市町村数	目 標	市町村			125								
		実 績	市町村											
	達 成 率	%			前年度個別 計画なし									
	実 施 事 業 数	目 標	件			217								
実 績		件												
達 成 率		%												

個別保健事業名	長寿・健康増進事業補助金	事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 年度
---------	--------------	------	------------------

期	目 標	実 績	課 題
半 期 ご と の 進 行 管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度補助金の交付</li> <li>市町村に実施計画提出依頼</li> <li>市町村から広域連合へ実施計画提出</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村連絡調整会議において市町村事務担当者への事業説明</li> <li>市町村から広域連合へ交付申請書提出</li> <li>市町村から広域連合へ実施報告提出</li> </ul>		【評価（Check）欄にまとめて記載】

翌年度予算編成に当たっての事中評価（年度途中の仮評価）

翌年度予算編成時までに新たに生じた問題点や環境の変化	今後の方向性	コスト投入の方向性			
		皆 減	縮 小	現状維持	拡 大
翌年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	成 果 の 方 向 性		②	⑤	⑦
	拡 充				
	現 状 維 持		③	⑥	⑨
	縮 小		④	⑧	⑩
	休 廃 止	①			

評 価 課 題 (Check)	視 点				妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価	
	評価の観点	1	2	3	4	評価	1	2	3	4	評価	1	2	3	4	評価		
	チェック																	
総合評価																A	補助金を現状のとおり支出することが適当	
																B	補助金の額、内容等を改善、見直すことが適当	
																C	他の事業（一般事業・補助事業）と統合することが適当	
																D	補助を休・廃止することが適当	
																前年度総合評価	—	
																前年度整理番号	—	

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (Act)		今後の方向性	コスト投入の方向性			
			皆 減	縮 小	現状維持	拡 大
	成 果 の 方 向 性	拡 充		②	⑤	⑦
		現 状 維 持		③	⑥	⑨
		縮 小		④	⑧	⑩
休 廃 止		①				

「北海道後期高齢者医療広域連合保健事業実施に関する協議会」における意見等

--	--

個別保健事業名	高齢者の保健福祉、介護に関する事業の情報交換等	事業期間	平成 30 年度 ~ 平成 年度
---------	-------------------------	------	------------------

第2期保健事業実施計画における位置付け	有	該当する基本目標名	05 保健事業の実施体制整備
---------------------	---	-----------	----------------

計 画 の 概 要	現状と背景、趣旨・・・上位目標（基本目標）との関係性、どうして	<ul style="list-style-type: none"> <li>広大な面積を有し構成市町村数が多いという地域特性を踏まえながら、被保険者の利便性を確保し、必要に応じた適切な事業が実施できるよう、市町村と情報共有しながら、連携を強化し取組んでいく必要があります。</li> <li>保健事業の実施に当たっては、高齢期において一貫性、連続性のある取組を行えるよう、保健・医療・介護の関連団体等とも連携を図り、推進していく必要があります。</li> </ul>			
	事業の対象・・・誰（何）のために、働きかける相手は誰（何）	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村、道（総合）振興局において（後期）高齢者の保健福祉、介護に関する事業に関係する職員（事務職・専門職）。</li> <li>医療・介護分野の職員等（事務職・専門職）</li> </ul>			
	仕組・体制、手段・手順 [ストラクチャー、プロセス]・・・どうやって、どのような手段を使って	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係者との間で、後期高齢者（医療）の現状及び健康課題を共有するための情報交換会を開催する。</li> <li>また、広域連合の施策や事業実施体制等について説明を行うとともに、（後期）高齢者に対する保健福祉、介護に関する事業の実施状況等について、情報交換、意見交換を行う。</li> </ul>			
	意図・・・対象をどうしたいか、どんな状態にしたいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域連合が行う保健事業をより効果的・効率的に展開できるようにする。</li> <li>広域連合職員と関係職員との間で相互理解を深め、後期高齢者に必要な事業がなされるよう、連携が強化される。</li> <li>市町村内、関係団体内のほか、関係者間においても事務職と専門職等との間で連携が強化される。</li> </ul>			
	実施してつくり出すもの（内容）は何 [アウトプット]	指標名称	単位	指標の算出方法、考え方等	目標値
活動指標	情報交換会の開催	開催回数	回		5
成果指標	成果・効果は何 [アウトカム]	指標名称	単位	指標の算出方法、考え方等	目標値

実 施 状 況	予算事業名	保健事業推進強化対策事業		会計	02	款	01	項	01	目	01	事業	78	
	項目	単位	H29予	H29決(又は決見)	H30予	H30決(又は決見)								
	被保険者数	人	予算編成時推計値 795,326	平成30年3月末現在 803,930	予算編成時推計値 815,001	平成31年3月末現在								
	事業の利用者数	人	予算編成時推計値 -	平成29年度 -	予算編成時推計値 -	平成30年度 -								
	事業費	節・細節	円	H30年度 新規事業		224,000								
		合計				224,000								
		被保険者1人当たり事業費				0.27								
		事業の利用者1人当たり事業費												
	財源内訳	国庫交付金	円			224,000								
		合計				224,000								
	評 価	項目	単位	平成29年度		平成30年度								
		活動指標	開催回数	回	H30年度 新規事業		5							
			達成率	%										
		成果指標	目標											
実績														
達成率			%											
目標														
		実績												
		達成率	%											

個別保健事業名	高齢者の保健福祉、介護に関する事業の情報交換等	事業期間	平成 30 年度 ~ 平成 年度
---------	-------------------------	------	------------------

期	目 標	実 績	課 題
半 期 ご と の 進 行 管 理	上半期 ・ 情報交換会の開催		
	下半期 ・ 市町村連絡調整会議において市町村事務担当者への事業説明		【評価（Check）欄にまとめて記載】

翌年度予算編成に当たっての事中評価（年度途中の仮評価）					
翌年度予算編成時までに新たに生じた問題点や環境の変化		今後の方向性		コスト投入の方向性	
				皆 減	縮 小
		成果の方向性		現状維持	拡 大
翌年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		拡 充		②	⑤
		現状維持		③	⑥
		縮 小		④	⑧
		休 廃 止		①	⑩

評 価 課 題 ( C h e c k )	視 点				妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価				
	評価の観点				1	2	3	4	評価	1	2	3	4	評価	1	2	3	4	評価		
	チェック																				
総合評価																	A	計画どおり事業を進めることが適当			
																	B	事業の進め方に改善が必要			
																	C	事業規模・内容・実施者等の見直しが必要			
																	D	事業の統合、休・廃止の検討が必要			
																	前年度総合評価		-		
																	前年度整理番号		-		

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 ( A c t )	今後の方向性		コスト投入の方向性			
			皆 減	縮 小	現状維持	拡 大
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	⑦
		現状維持		③	⑥	⑨
		縮 小		④	⑧	⑩

「北海道後期高齢者医療広域連合保健事業実施に関する協議会」における意見等						



個別保健事業名	高齢者保健事業推進研修	事業期間	平成 30 年度 ~ 平成 年度
---------	-------------	------	------------------

第2期保健事業実施計画における位置付け	有	該当する基本目標名	05 保健事業の実施体制整備
---------------------	---	-----------	----------------

計 画 の 概 要	現状と背景、趣旨・・・上位目標（基本目標）との関係性、どうして	<ul style="list-style-type: none"> <li>広大な面積を有し構成市町村数が多いという地域特性を踏まえながら、被保険者の利便性を確保し、必要に応じた適切な事業が実施できるよう、市町村と情報共有しながら、連携を強化し取組んでいく必要があります。</li> <li>保健事業の実施に当たっては、高齢期において一貫性、連続性のある取組を行えるよう、保健・医療・介護の関連団体等とも連携を図り、推進していく必要があります。</li> </ul>			
	事業の対象・・・誰（何）のために、働きかける相手は誰（何）	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村、道（総合）振興局において（後期）高齢者の保健福祉、介護に関する事業に関係する職員（事務職・専門職）。</li> <li>医療・介護分野の職員等（事務職・専門職）</li> </ul>			
	仕組・体制、手段・手順 [ストラクチャー、プロセス]・・・どうやって、どのような手段を使って	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係者に対し広域連合の施策、後期高齢者（医療）の現状及び健康課題等の説明を行うとともに、高齢者の特性を踏まえた保健事業の取組の目的や内容に関し、説明や事例発表、講演等からなる研修会を開催する。</li> </ul>			
	意図・・・対象をどうしたいか、どんな状態にしたいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域連合が行う保健事業をより効果的・効率的に展開できるようにする。</li> <li>広域連合職員と関係職員との間で後期高齢者（医療）の現状や健康課題を共有し、相互理解を深め、後期高齢者に必要な事業がなされるよう、連携が強化される。</li> </ul>			
	実施してつくり出すもの（内容）は何 [アウトプット]	指標名称	単位	指標の算出方法、考え方等	目標値
活動指標	研修会の開催	開催回数	回		2
成果指標	成果・効果は何 [アウトカム]	指標名称	単位	指標の算出方法、考え方等	目標値

実 施 の 状 況	予算事業名	保健事業推進強化対策事業		会計	02	款	01	項	01	目	01	事業	78						
	項	目	単位	H29予	H29決(又は決見)	H30予	H30決(又は決見)												
	被	保	険	者	数	人	予算編成時推計値 795,326	平成30年3月末現在 803,930	予算編成時推計値 815,001	平成31年3月末現在									
	事	業	の	利	用	者	数	人	予算編成時推計値 -	平成29年度 -	予算編成時推計値 -	平成30年度 -							
	事	業	費	節・	委託料	円	H30年度 新規事業		3,345,000										
				合	計				3,345,000										
				被	保		険	者	1	人	当	た	り	事	業	費	4.10		
				事	業		の	利	用	者	1	人	当	た	り	事	業	費	
	財	源	内	記	国庫交付金	円			3,345,000										
					合		計	3,345,000											
					項		目	単位	平成29年度	平成30年度									
	活	動	指	標	開催回数	回	H30年度 新規事業		2										
					目	標													
					実	績													
					達	成	率	%											
成	果	指	標	目	標														
				実	績														
				達	成	率	%												
				目	標														
実	績																		
達	成	率	%																

個別保健事業名	高齢者保健事業推進研修	事業期間	平成 30 年度 ~ 平成 年度
---------	-------------	------	------------------

期	目 標	実 績	課 題
半 期 ご と の 進 行 管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修運営支援業務の委託</li> <li>研修日程、内容等の確定</li> <li>講師との調整、会場確保</li> <li>開催案内・申込集約</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修開催</li> <li>研修報告書の作成</li> <li>委託料等の支払</li> <li>市町村連絡調整会議において市町村事務担当者への事業説明</li> </ul>		【評価（Check）欄にまとめて記載】

翌年度予算編成に当たっての事中評価（年度途中の仮評価）					
翌年度予算編成時までに新たに生じた問題点や環境の変化		今後の方向性		コスト投入の方向性	
				皆 減	縮 小
		成 果 の 方 向 性		現 状 維 持	拡 大
翌年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		拡 充		②	⑤
		現 状 維 持		③	⑥
		縮 小		④	⑧
		休 廃 止		①	⑩

評 価 課 題 (Check)	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価				
	評価の観点	1	2	3	4	評価	1	2	3	4	評価	1	2	3	4	評価	1	2	3	4	評価				
チェック																									
総合評価																					記号の定義	A	計画どおり事業を進めることが適当		
																						B	事業の進め方に改善が必要		
																						C	事業規模・内容・実施者等の見直しが必要		
																						D	事業の統合、休・廃止の検討が必要		
																				前年度総合評価		-			
																				前年度整理番号		-			

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (Act)			今後の方向性		コスト投入の方向性			
					皆 減	縮 小	現 状 維 持	拡 大
			成 果 の 方 向 性		②		⑤	
			拡 充		③		⑥	
			現 状 維 持		④		⑧	
		縮 小		①		⑩		
		休 廃 止						

「北海道後期高齢者医療広域連合保健事業実施に関する協議会」における意見等